



しののめYMC Aこども園 園だより

2024年度 10月号

発行者:こども園園長 草分俊一

聖句 「互いに愛し合いなさい」
わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。
これがわたしの掟である。

10月聖句 ひとりよりもふたりが良い

コヘントの言葉4章9節

今年の9月も残暑厳しい日が続きました。気温や湿度が高く、いつまで夏のじめじめとした暑さが続くのだろう、早く過ぎしやすい秋の季節の到来を願うばかりでした。そして、やっとこの数日、一気に気温が10℃ほど下がり、Tシャツでは少し肌寒さを感じるほどになりました。この寒暖の差で保護者の方々をはじめ、こどもたちが体を壊さないようにしていただきたく思います。

9月7日(土)、しののめチャリティー祭りを開催することができました。大きなけがや事故なく終えることができました。在園の家族、そしてこの3月に卒園をしたばかりの小学1年生の家族が園庭や人工芝の中庭を埋め尽くしました。お友達と楽しむ姿、家族で楽しむ姿、先生と楽しむ姿、ボランティアを楽しむ姿・・・お祭りを通して親睦を深めることができたのではないのでしょうか。

おひさま会の方々には1学期から多くの時間を準備に費やしていただき本当にありがとうございました。そして当日模擬店をお手伝いくださった方々、昨年度からスタートした卒園生のジュニアリーダー(中高生)のポップコーン販売、経験豊富なオリーブ会や東京ベイサイドクラブの方々、多くの方々のお支えがあり来園者が楽しむときを過ごすことができたことは確かなことです。この場をお借りして改めて感謝申し上げます。

こどもたちにとって、お母さん、お父さん、ジュニアリーダーのお姉さん、お兄さん、オリーブ会や東京ベイサイドクラブの方々の活躍は、心に残る映像だったことと思います。この思いがジュニアリーダーとして、数年後お祭りを支えてくれることにつながると願っております。

お祭りの収益金は9月28日に開催される「チャリティーラン」のエントリーフィーに使わせていただきます。(ジュニアリーダーが販売したポップコーンの収益金も寄付をいただきました)

最後に、こども園の願いは、保護者の方々、オリーブ会の方々、東京ベイサイドクラブの方々、教職員が共に汗を流し、笑顔で同じときを過ごしながら親睦を図り、将来を担う子どもたちの成長に寄与することです。二学期は行事に伴い、保護者の皆様に沢山のお支えをいただきます。ご協力をよろしくお願い申し上げます。

*復旧が進む中での奥能登の豪雨災害、心が痛みます。東京YMC Aではボランティアの派遣、募金などの必要な取り組みを進めていきます。ご協力の程、よろしくお願いいたします。